

4 月度 <b>例会</b> 山行報告書		報告者	中山 正夫	参加 メンバー	CL:中山正夫
個人		報告日	5/12		
山城	福井県	山行日	15 年 4 月 29 日(水)~ 5/1(金)		
山名	姥ヶ岳・銀杏峰・部子山				

配布先  
集会:12  
山行:1  
リーダー  
原紙:集  
会担当者

山行目的	バイクで越前国境の山を楽しむ	コースタイム (天候:天気図記号)	
ルート図 (地図を見て正確に)		4/29(水)晴れ 5:45 平家橋着 6:10 平家橋発 7:05~:25 平家平 7:50 柄の木アゼン装着 8:10~:45 林道休憩 9:35~:50 広い尾根 10:15~:35 姥ヶ岳頂上 11:40~:50 林道降口 12:55 平家橋着:35 バイクで発 15:00 宝慶寺いこいの森着 4/30(木)晴れ 4:40 いこいの森発 5:20~:25 名松コース水場 5:50~6:05 仁王松 6:35~:45 休憩 7:00 前山直下アゼン装着 8:25~:45 銀杏峰頂上 9:30~:45 小葉谷コース 1200m 10:20~:35 小葉谷林道 11:35 いこいの森着 14:00 池田町林道偵察 16:00 池田町水海着	5/1(金)晴れ 4:15 水海バイク発 4:45 P6 に駐輪~:50 発 5:50~6:05 大野林道休憩 7:50 北尾根アゼン装着 8:40~:50 反射板コル休憩 9:15~:30 部子山頂上 11:20P6 バイク着 :30 発 11:50~12:30 水海テント撤収 16:00 自宅着



銀杏峰

〈山行報告〉 4/29(水) 前日に白鳥町長滝白山道の駅泊で 4:00 出発、九頭竜ダム勝原-大野市と走り国道 157 にて平家橋 5:45 着。林道は雪で埋まりジグザグ林道をショートカットしながら、廃村の平家平 7:05 休憩。登山口の看板は半分雪に埋まり、軽装バイクが今年は雪が多いとのこと。キックステップで柄の大木まで登り、アゼン装着、急傾斜を乗り越え、林道に出て休憩。源流の沢まで林道を歩き、広い尾根に取付く。広い姥ヶ岳頂上に 10:15 着。帰りは沢沿いを快適に飛ばし、平家橋 12:55 着。バイク移動で宝慶寺いこいの森キャンプ場泊。4/30(木)テントそのままに 4:40 発。新緑の名松尾根を急登し、前山手前の急斜面でアゼン装着、雪はここだけですぐにアゼンを外す。雪が解けた登山道をゆるやかに登り、8:25 銀杏峰着。あわよくば、部子山に行けるかと、雪の主稜線を期待したが、何ヶ所かの激藪が見えて、諦めて小葉谷コースを下る、ルートは急で雪面に踵を蹴りこんで急降下する。登山道が出て急でドロップをつかんで下る。やがて林道に出てキャンプ場まで戻る 11:35 着、すぐにテントを撤収して、大野市のスーパーで買出しとバイク給油し、池田町の水海へ向かう。水海から林道偵察し、道標 P12~P5 まで確認する。16:00 水海集落の上流の橋際にテント設置する。 5/1(金)

4:45 に P6 に駐輪し出発、P5 を過ぎていく歩いても P4 に着かない、どこかで、違う林道に入ったようだ、右手の雪の尾根に強引に上がり部子山をさがしたら、幸運にも 100m 激藪こぎしたら、雪の尾根が上部まで続いていた。アゼン装着して反射板まで快適登山、アゼンを外し、緩やかな登山道を歩き部子山頂上 9:15 着。下りは正規的林道

(サニター所見) を下るつもりが、林道にデブリが斜めに溜まり、はるか下の沢まで雪の急斜面で緊張する。11:00 に朝間違えた P5 まで戻ってきた。やはり正規的林道がデブリで埋まり隠れて、大野林道に迷い込んだのが判明した。11:20 に P6 のバイクまで戻り、11:50 水海のテント撤収して、武生 IC から北陸道を走り、16:00 自宅着。

廃村やポツリ立ってる八重桜  
残雪を選んで登る銀杏峰  
林道のデブリ緊張トラバース  
買いかえた赤いシャフトのピッケルを  
みがきてすぐ春の縁側  
沖仙

確認 (リーダー)  
中  
5/05/08  
山  
作成 (報)  
中  
5/05/08  
山